

南部労福協 2016 年度定期総会開催！！

メインスローガン 連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！

労働者福祉南部ブロック協議会（南部労福協）は、2月15日（月）、14時から佐賀市内のホテルにおいて2016年度定期総会を開催しました。

定期総会には、来賓、代議員、役員等、65名が出席し、金丸隆徳幹事（宮崎県労福協）の開会挨拶で始まりました。議長団には、佐賀県労福協から、村山義幸代議員（労金佐賀県本部）と瀬光宏幸代議員（全労済佐賀県本部）の両名が選出され議事に入りました。

冒頭、南部労福協を代表して挨拶に立った相川司会長は「今、大きな社会問題になっている奨学金問題を取り組んでいる。何としても改善を図らなければならない。今後も南部労福協として勤労者の福祉向上を図っていきたい」と挨拶しました。

2016年度 南部労福協幹事会役員

役職名	氏名	選出団体名
会長	相川 司	佐賀県労福協
事務局長	吉浦 明	佐賀県労福協
幹事	深町 裕二	福岡県労福協
〃	舛田 憲二	長崎県労福協
〃	末長 孝	熊本県労福協
〃	吐合 史郎	大分県労福協
〃	金丸 隆徳	宮崎県中央会
〃	畠中 和広	鹿児島県労福協
〃	島袋 鉄夫	沖縄県労福協
〃	西村 茂樹	連合九プロ
〃	宗安 勝敏	九州労働金庫
〃	成岡 義光	沖縄県労働金庫
〃	土屋 莊一	全労済西日本事業本部
会計監査	岩田 和己	自治労佐賀県本部
〃	山田 正彦	九州労金佐賀県本部



南部労福協を代表して挨拶する相川司会長

来賓挨拶では、中央労福協から花井圭子事務局長、連合九州ブロック連絡会から高島喜信代表幹事、佐賀県から農林水産商工本部雇用労働課の松尾国宏課長より祝辞と連帯のご挨拶がありました。その後、議長団から、メッセージ・祝電の披露をしたあと、総会成立宣言を行い、日程確認して審議に入りました。

吉浦事務局長から、第1号議案・2015年度活動報告、第2号議案・2015年度決算報告及び収支差額処分案、第3号議案・2016年度活動方針案、第4号議案・2016年度予算案について提起され、審議の結果、全て満場一致、原案通り可決・承認されました。

スローガン提起については、議長団から総会メインスローガン、サブスローガンを読み上げ、全体の拍手で採択されました。全ての議事が終了し、舛田憲二幹事（長崎県労福協）から閉会の挨拶があり、15時40分終了しました。

引き続き2016年度記念講演が開催されました。

2016年度定期総会 記念講演

講演では、佐賀新聞社常務取締役富吉賢太郎氏から「人を追い詰めない社会を・・・」を演題に記念講演がありました。富吉講師は、「日本は戦後、教育によって勤勉な国民を創り上げてきた。そこには国を動かす真面目な官僚もいた。しかし、現在このことが失われつつある。ハンセン病患者を人間として認めない抗議の電話、多くのFAXが過去あった。これほど卑劣に人を攻撃することが出来るのかと感じた。大事なことは、学ぶこと、知る事で差別の事を考え、他者への思いやりも学ぶことによって出来る」と講演しました。



ご講演される佐賀新聞社富吉常務取締役

給付型奨学金制度の導入・拡充と 教育費負担の軽減を求める署名活動を展開

福岡県で1月末15,799筆・全国で220万筆を超える集約！！

この度の「給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める署名活動」にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

今、大学の学費の高騰と家計収入の減少により、大学生の2人に1人が何らかの「奨学金」を利用しています。さらに、不安定雇用や低賃金労働の拡大により、卒業しても返済に苦しみ「返したくても返せない」人たちが増えています。

諸外国では高等教育の無償化や給付型奨学金が主流となっており、貸与に頼り切った日本の制度は特異な存在です。貸与型奨学金制度は卒業後の安定した雇用が前提であり、雇用の不安定化を進めながら、高額の教育費を個人にのみ負わせるシステムは限界に達しています。今の状況が続けば、貧困の連鎖にとどまらず、中間層までも結婚・出産・子育てが困難となり、少子化・人口減を更に加速しかねません。未来を担う若者を社会全体で支え、持続可能な社会にするため、私たちは奨学金制度の改善と教育費負担の軽減を求めていきます。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

地域だより

～北九州地域労福協～



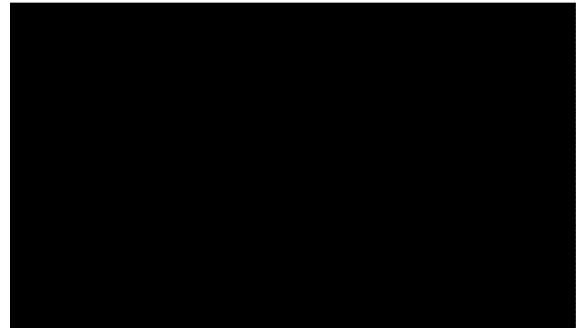
今回、北九州地域労福協は、現在実施中の「シルバーひまわりサービス」の取り組みについて、ご紹介いたします。

地域社会では、家族関係の変化や住民相互のつながりの希薄化などを背景に、社会的孤立や生活困窮による不安などの深刻な生活・福祉課題が顕在化しています。

こうした中、北九州地域労福協では、北九州市社会福祉協議会が実施している、病院への通院、買い物、理髪、法事やお寺参りなどの日常必要なもののほか、観光や教養を高める文化活動への参加、子ども・友人宅への訪問サービス、いわゆる、「シルバーひまわりサービス（在宅虚弱高齢者送迎サービス）」に積極的に参加しており、平成9年より、外出の際に必要となる福祉車両の寄贈と送迎サービス活動ボランティアの募集を実施しています。

福祉車両の財源については、各構成組織のご理解のもと、毎年12月～5月を中心に募金活動を実施し、昨年は2,427,352円の善意が寄せられました。その財源より福祉車両を購入し、毎年の北九州メーデーにおいて、各構成組織よりご参加いただいている皆さんに披露するとともに、北九州市に贈呈しています。（これまでに寄贈した台数13台）構成組織における送迎サービスカー活動ボランティアの登録者は、昨年までで運転ボランティア113名、同乗ボランティア86名となっています。

北九州市内にお住いのご家族、友人、知人でご協力いただける方がおられましたら是非ともご紹介をお願いします。



2014年度「福祉募金」の取り組み

地域名	寄 贈 先	寄 贈 物 品 等	寄贈日
遠賀川	社会福祉法人 なのみ一枝会「なのみ園」	畳替え一式、全自動洗濯機 1台、衣類乾燥機 1台、	2015.06.20
福岡	ひだまりのおうち	リフトントイレシステム	
	ひまわりらんど	無風冷凍ショーケース、冷凍ストッカー	
【17施設】	放課後等デイサービス アルク	知育玩具類 28点	
福岡地区 11	放課後等デイサービス スローステップ	テレビ、レコーダー	
糸島地区 3	放課後等デイサービス うらら	車いす、イヤーマフ、ポーチルーラー、i Pad,	
宗像糟屋地区 3	放課後等デイサービス フィット馬出	パソコン 2台周辺機器、i Pad,	
	放課後わはは	パソコン、知育玩具、	
	ぼくらカンパニー	パソコン 2台、モニター	2015.10.24
	NPO 法人 SOS 子どもの村 JAPAN	知能検査機器一式、教育器材	
	CoCo.Com[ココドットコム]	手すり等のサポート機器、知育玩具、防犯用品	2015 福祉学習会で贈呈式
	福岡市立千代小学校 夜間学級	コピー機	
	障がい者しごと支援センター 木の実	パソコン、プロジェクター、冷蔵庫、電子レンジ	
	特定非営利活動法人 ジネス	i Pad、掃除機等、包丁 4、草取り鎌 4、	
	合同会社 ゆめいろ舎	職業用ミシン及びテーブル、アイロン	
	社会福祉法人起生会 アトリエ夢工房	ガス高速オーブン	
	ふくとぴあ障害福祉サービスセンター	パソコン、スキナー、テーブル、スルッパ	
	リビング 紀水庵	リハビリ用平行棒、シャワーチェア、	
京築・田川	放課後等デイサービスキッくらぶ	Ipad1台、カプラ 2台、冷蔵庫 1台、オーブンレンジ 1台、掃除機 1台、ドアホーン 1台、子ども用書籍 3冊	2015.09.11
	行橋みらい学園	テレビ 1台、DVD 30本、DVDプレーヤー 1台	2015.09.15
	鈴の音福祉会 ひまわり学童保育所	冷蔵庫 1台、冷凍庫 1台、プリンター 1台、CD ラジカセ 1台、ミュージックプレーヤー 1台、テレビ 1台、	2015.09.15
南筑後			
筑紫・朝倉	筑紫地区 筑紫野市役所	車イスノーパンクタイヤ交換ボランティア(15台)	2015.10.08
	浅倉地区 東峰村役場・社会福祉協議会、	車イスノーパンクタイヤ交換ボランティア(13台)	2015.10.30
	朝倉地区 筑前町障がい児・者問題を考	パソコン、コーヒーメーカー、その他、	2015.11.02
	筑紫地区 Nっ子クラブ「かがわーの親子」	プロジェクター、	2015.11.02
北筑後	声のボランティアグループ	パソコン、ヘッドタイプマイク	2015.10.17
	共に生きる場 J AMBO	パソコン、フリー ボックス、	2015.11.04
	S・ぱ~ぶるリボン	パソコン、	2015.11.04
	NPO 法人城南健康ふれあい俱楽部	けん玉、ストレッチボール、i Pad、	2015.11.04
北九州	北九州市社会福祉協議会	シルバーひまわり移送サービス車輌 1台	2015.04.29

※南筑後地域労福協は、贈呈先を現在検討中です。

福祉募金へのご協力に対し心から感謝申し上げます。

2014年度は、8,125,416円のあたたかいお金が集まり、県内30施設へ必需品を寄贈したことご報告申し上げます。2015年度は(2015年12月1日～2016年3月31日)現在取り組み中です。引き続きのご協力をお願い申し上げます。

[目的]心身ともにハンディキャップを背負いながらも、自立と社会参加をめざす人達の福祉向上と、支援の輪を広げていくことを目的として活動をしています。ご支援宜しくお願いします。

連合;全国一斉集中労働相談ダイヤル実施!

テーマ；ゆるさない！ワーカルール無視！！パート・アルバイト・
契約・派遣などで働く人のための労働相談ホットライン

れんごうは、2月4日から6日にかけて（6日は本部転送）、連合全国一斉労働相談ダイヤルを実施しました。今回は「ゆるさない！ワーカルール無視！！パート・アルバイト・契約・派遣などで働く人のための労働相談ホットライン」というテーマで取り組みの周知を図りました。

各地域協議会において街頭行動でのティッシュ配布等の呼び掛けに加えて、マスコミへのプレスリリースも行い、その結果、新聞社からの取材、また初日（4日）にはTNC（テレビ西日本）

とKBC（九州朝日放送）のテレビ2社からの取材がありました。

期間中の相談は合計で21件あり、雇用区分では、正社員が7名、パート・契約社員等は13件、無職1件とテーマが示す通り、いわゆる非正規雇用で働く方々からの切実な相談が多くありました。

次回は5月に取り組む予定となっており、なんでも労働相談ダイヤルは、常時受け付けておりますので、皆様の周りでお困りの方がいたら、お声掛けいただきますようお願いします。

二日間で相談件数21件！



取材中の相談窓口の様子